発行所／一般社団法人 ジェネティクス北海道
発行人／近藤 好弘　令和4年9月15日号

Sire サイア

Vol.457
9月

CONTENTS

2 新規検定済種雄牛の紹介（乳）
JP3H58247・JP3H58355・JP3H58450
5 新規検定済種雄牛の紹介（肉）H黒-312 鉄晴幸
6 鹿児島全共 特別区 出品を目指して!
9 現場レポート① 牛が本来の姿でいられる酪農を目指して
～十勝清水町 十勝アルプス牧場～
12 現場レポート② 『すき』を『かたち』にできる場所酪農学園大学附属とわの森三愛高校
～第12回全国和牛能力共進会へのチャレンジ～
14 新規ゲノミックヤングサイアの紹介（乳）
15 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介（肉）
H黒-370 秋光花・H黒-373 琥百合5
16 第5回GH絵画コンテストのお知らせ

「目が合う牛」　画：冨田 美穂　HP「MIHO TOMITA 牛の木版画と絵画」 https://tomitamiho.com/

新規検定済種雄牛の紹介 乳用種雄牛評価成績2022-8月

BOMAZ ALTABANCO UNO ET
JP3H58247

- 個体識別番号:15285-0994-5
- 平成29年4月24日生
- 繁殖者:アメリカ ボーマッズ ファームズ 株式会社
- 生産者:北海道 寺谷 英喜 氏

new

ボーマッズ アルタ バンコ ウーノ ET

FFFFFFF

MOVIE

PC 50%

A2/A2

GNTP No. 15

GH-X♀ 9月販売開始予定

- 母系は米国ボーマッズ牧場の看板ファミリー、高能力·高乳成分·好繁殖の“ダルセ ボーマッズ”
- 空胎日数全国 **第1位**！優れた繁殖形質で繁殖を改善
- 無角（PC）で産子の無角率50%

ボーマッズ ニューメロ ウーノ 5904 ET

- ♂ボーマッズ アルタバンコ ET
  - ♂ミスター OCD ロバスト ドナテロ ET
  - ♀ボーマッズ アーミテージ 5668 ET
- ♀ボーマッズ パワーボールP 6756 ET GP-84
  - ♂ビューホーム パワーボール P ET
  - ♀ボーマッズ ニューメロ ウーノ 5904 ET EX-90
    - ♂アミガテイ ニューメロ ウーノ ET

GNTP **+2,179**

疾病繁殖成分	乳蛋白質%	SNF%	体貌と骨格
全国第1位	全国第4位	全国第7位	全国第8位

2022年8月公表の乳用種雄牛評価値にて第15位でデビューした「バンコ」は全国第1位の疾病繁殖成分を誇る国内唯一のアルタバンコ息牛です。バンコは当団優良遺伝資源造成事業による受精卵産子で、北海道斜里町の寺谷英喜牧場にて誕生しました。

ファミリーはアメリカ、ウィスコンシン州のボーマッズ牧場で活躍する高い産乳能力と優れた繁殖性を兼ね備えた「ダルセ ボーマッズ 1551」であり、アルタバンコ×パワーボール P×ウーノ×ローンボーイ Pという独特の掛け合わせと、モーグルを含まない血統構成が特徴です。祖母「ウーノ 5904」はGTPI第3位の無角の未経産牛として注目を集め、生涯生産乳量は10万kg超え、ベストレコード3歳7ヶ月305日 19,130kgを記録したエリートカウです。母「パワーボール」はベストレコード2歳10ヶ月 305日 18,913kgを記録し、4歳10ヶ月で4産と優れた長命連産性を発揮しました。

バンコは管理形質改良のスペシャリストであり、ファミリー譲りの優れた繁殖性で全国第1位の空胎日数と娘牛受胎率を持ちます。娘牛は平均決定得点80.7点と高く、体貌と骨格は全国第8位、乳蛋白質率第4位、SNF率は第7位であり、体型と能力を併せ持つ無角（PC）種雄牛です。理想的な後肢飛節の角度とファミリー譲りの中型サイズかつバランスの良い機能的体型、好乳器が特徴です。

産子は50%の確率で無角となり除角の負担軽減に加え、機能的体型と能力により様々な飼養形態での活躍が期待できる1頭です。

ポンチアク アニー ウーノ
鹿追町／若原 政雄 氏 所有　母の父／RCA アベンシス ツーオー ET

ポンチアク アニー ウーノ

ESSENCE GD APOLO GRANCLASS

JP3H58355

- 個体識別番号:14765-1238-7
- 平成29年5月22日生
- 生産者:北海道 株式会社 栗城牧場

new

エッセンス GD アポロ グランクラス

MOVIE

FFFFFFF

A2/A2

GNTP No. 30

GH-X♀ 9月販売開始予定

- 日本を代表するショウカウファミリー“アポロ”より初の種雄牛！
- 母系は5代連続EXを獲得！！
- 低い体細胞スコアとオールプラスの乳成分で乳質改善に貢献
- 優れた乳器改良効果も兼ね備える！

エッセンス レクサス スター アポロ

♂トリプルクラウン ゲートダンサー ET
- ♂ザーブルス アルタフアーストクラス ET
- ♀トリプルクラウン SSIRE ダーラ ET

♀エッセンス ブラウラー エル アポロ EX-91
- ♂ジエニベツク ブラウラー ET
- ♀エッセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET EX-93
  - ♂ブレイデール ゴールドウイン

GNTP **+1,854**

体細胞スコア	SNF%	乳器	耐久性成分
全国第7位	全国第8位	全国第9位	全国第10位

2022年8月公表の乳用種雄牛評価成績にて全国第30位でデビューした「グランクラス」は北海道豊富町の株式会社栗城牧場で繁栄する名血「アポロ」ファミリーより輩出されたゲートダンサー息牛です。

グランクラスの祖母「エッセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET EX-93」は2015年に北海道で開催された第14回全日本ホルスタイン共進会にて4歳級として名誉賞に輝き、母「エッセンス ブラウラー エル アポロ EX-91」は2016年及び2017年北海道ホルスタインナショナルショウに出場して2度1等賞に入賞。母からさかのぼること5代連続EX級を獲得しており、4代母「エッセンス レクサス スター アポロ EX-95」は2004年北海道ホルスタインナショナルショウにてグランドチャンピオン、2005年栃木全共優等賞1席、5代母「エッセンス ロツクアリー スターダム EX-92」は2000年岡山全共優等賞と祖先に3頭の全共出品牛がいる血統です。

祖母「エル ダーハム」が4歳の時、2015年11月評価にて初めて経産牛NTP上位1%にランキングし、ショウカウとしてのみならずインデックスカウとしての頭角を現しました。当団は彼女の娘「ブラウラー エル アポロ」に計画交配を試み、初産分娩後に当時高ゲノム･好体型のヤングサイアであった「ゲートダンサー」を掛け合わせグランクラスが誕生しました。その後、母、祖母ともに2017年2月評価にて経産牛NTP上位1%にランキングしました。

グランクラスはファミリー譲りの乳用強健性に極めて優れ、雌牛らしい品位に富んだ娘牛が多く見られ、さらにファミリーの特長でもある極めて付着の強い乳房を持ち併せています。能力面では、乳成分オールプラスかつ体細胞スコアも低く、モーグルを含まないアウトクロスの血統としても幅広い交配が可能です。

エッセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET
第14回全日本ホルスタイン共進会 名誉賞

エッセンス ブラウラー エル アポロ
2017北海道ホルスタインナショナルショウ 第12部 ジュニア3歳クラス 1等2席

DEVELOP CENTER BACK ET

JP3H58450

◆ 個体識別番号:14880-8753-8
◆ 平成29年7月26日生
◆ 生産者:北海道 株式会社 稲川牧場

new

MOVIE

A1/A2

GNTP No. 31

デイベロップ センター バック ET

FFFFFFF

◆ 母は国内で活躍する“プリン”、元祖は“ペニア”ファミリー
◆ 乳器全国第2位、決定得点全国第3位の優れた体型改良力！
◆ オールプラスの乳成分で乳質改善に貢献

デイベロップ キングボーイ プリンA 7300 ET

♂ トリプルクラウン ゲートダンサー ET
- ♂ ザーブルス アルタフアーストクラス ET
- ♀ トリプルクラウン SSIRE ダーラ ET

♀ デイベロップ キングボーイ プリンA 7300 ET VG-85
- ♂ モーニングビユー MCC キングボーイ ET
- ♀ デイベロップ スーパー プリン ET GP-84
  - ♂ シーガルベイ スーパーサイアー ET

GNTP **+1,843**

乳　器	決定得点	体貌と骨格
全国第2位	全国第3位	全国第4位

耐久性成分	乳用強健性	SNF%	乳蛋白質%
全国第8位	全国第8位	全国第9位	全国第10位

2022年8月公表の乳用種雄牛評価値にて第31位でデビューした「センター バック」は国内で活躍する高インデックスカウファミリー「デイベロップ スーパー プリン ET」から誕生した体型と乳器改良に優れたゲートダンサー息牛です。

「スーパー プリン」は北海道美瑛町の株式会社稲川牧場で誕生した高能力が特徴のファミリーであり、センター バックの祖母にあたります。元祖は前乳房の付着の強さと優れた肢蹄が特徴の「ウエルカム ゴールドウイン ペニア」です。

センター バックの母「デイベロップ キングボーイ プリンA 7300 ET」は2018年8月経産牛NTPにて第6位にランキングした当ファミリーの代表牛であり、子孫の数はすでに60頭を超えます。祖母譲りの能力に加えて体型にも優れており、好乳器と好肢蹄が特徴です。

センター バックはゲートダンサー×キングボーイ×スーパーサイアー×スノーマンという能力と体型を兼ね備えた血統構成に加え、モーグルを含まない掛け合わせが特徴的です。乳器全国第2位、決定得点第3位、体貌と骨格第4位、耐久性成分第8位、SNF率第9位、乳蛋白質率第10位で、ゲートダンサーと母「キングボーイ プリンA」の好体型がマッチし、乳器と体型に優れます。

娘牛は乳房の資質形状、特に前乳房の付着の強さや後乳房の付着の高さ･幅、また胸幅と充実した中躯が特徴です。

体型と乳器の改良に加えて乳成分の改良を求める方におすすめの1頭です。

ジヤツキー センターバツク リーアン
厚岸町／木原 晃 氏 所有　母の父／ジエニベツク ブラウラー ET

フエアレデイ アジアン センターバツク（2産目）
紋別市／株式会社 T-FARM 所有　母の父／ウツドクレスト モーグル ヨダー ET

新規検定済種雄牛(黒毛和種)の紹介

H黒-312 気高系

てつ はる さち

鉄晴幸

■個体識別番号:13615-9948-6
■平成29年5月1日生
■黒原6188 84.8点
■生産:北海道登別市 井野 知弘 氏

脂肪交雑基準値	新細かさ指数
第2位	第4位
ロース芯面積	**バラの厚さ**
第5位	第5位
歩留基準値	**枝肉重量**
第5位	第7位

※当団供用種雄牛内

母「てつはれ9742(父:平茂晴)」は脂肪交雑7位(平成27年6月北海道育種価)にランクされた「てつせん」の娘牛であり、2世代にわたり高い育種価を示しています。

その母に「百合茂」の代表的な息牛である「幸紀雄」を交配した本牛は、発育が良く、体積が充実しており、後躯、資質が優れた種雄牛です。

現場後代検定(令和4年8月26日現在)では、肉質等級4·5率94.7%、BMS No.平均9.5、枝肉重量486kgを記録しており、特に脂肪交雑能力において非常に優れた成績を示しています。さらに令和4年7月評価の北海道育種価では、脂肪交雑7位にランクされ、育種価指標にてAHHCHHと脂肪交雑だけでなくその他の産肉能力においても高い評価を受けています。

母の系統別の成績では、系統を問わず優れた成績を示し、枝肉に張りがあり、ロース芯面積が大きく、形状の良い枝肉が生産されています。

現場後代検定時には体に伸びがあり、資質に優れ、体上線が強い産子が生産されています。

■ 血統

- 幸紀雄 黒原5297(86.7)
  - 百合茂 黒原4086(88.8)
    - 平茂勝 黒原2441(89.0)
      - 第20平茂
      - ふくみ
    - しらゆり 黒1968419(78.8)
      - 神高福
      - 第2しらき1
  - はつかね 黒2092633(81.5)
    - 金幸 黒原2865(86.8)
      - 金徳
      - かよこ
    - やすこ 黒原1142642(83.3)
      - 安平
      - なつこ
- てつはれ9742 黒2428529(81.9)
  - 平茂晴 黒原3712(84.0)
    - 糸晴美 黒原2142(84.0)
      - 第7糸桜
      - かもふじ3
    - しげとし 黒原639210(82.6)
      - 第20平茂
      - としこ
  - てつせん 黒原1449520(81.8)
    - 安福久 黒原4416(85.5)
      - 安福165の9
      - もとじろう
    - たけひら 黒原1053484(80.2)
      - 平茂勝
      - たけこの3

■ 現場後代検定成績(母系系統別成績) 令和4年8月26日現在

系統	性別	頭数	月齢	肉質等級 4・5率	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS No.
田尻	♂	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	♀	2	28.8	100.0	444	71	8.0	1.8	76.8	11.0
	計	2	28.8	100.0	444	71	8.0	1.8	76.8	11.0
波	♂	1	27.0	100.0	487	73	8.5	1.4	77.2	6.0
	♀	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	27.0	100.0	487	73	8.5	1.4	77.2	6.0
気高	♂	5	27.0	100.0	514	70	8.5	2.3	75.6	8.8
	♀	5	27.4	80.0	451	73	8.3	2.3	76.7	9.4
	計	10	27.2	90.0	483	71	8.4	2.3	76.2	9.1
藤良	♂	3	27.8	100.0	533	66	9.2	2.4	75.3	9.3
	♀	3	29.8	100.0	476	77	8.9	2.3	77.4	11.0
	計	6	28.8	100.0	505	72	9.0	2.4	76.3	10.2

■ 北海道育種価 6頭

育種価	正確度	指標
枝肉重量(kg)		
69.898	0.81	A
ロース芯面積(㎠)		
24.097	0.80	H
バラの厚さ(㎝)		
1.513	0.78	H
皮下脂肪厚(㎝)		
-0.401	0.81	C
歩留基準値(%)		
3.700	0.81	H
脂肪交雑基準値		
3.796	0.82	H

■参考

新細かさ指数(σ値)	
2.82	H
オレイン酸(σ値)	
-1.00	C

■ 現場後代検定成績(肉質等級4·5率及び平均値) 令和4年8月26日現在

性 別	頭 数	月 齢	肉質等級 4·5率	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(㎠)	バラの厚さ(㎝)	皮下脂肪の厚さ(㎝)	歩留基準値(%)	BMS No.
去勢	9	27.3	100.0	518	69	8.7	2.2	75.7	8.7
雌	10	28.4	90.0	457	74	8.4	2.2	76.9	10.2
全体	19	27.9	94.7	486	71	8.6	2.2	76.3	9.5

ホクレン十勝枝肉市場 令和4年6月3日 | 雌 28ヶ月

母の父:芳之国 × 母の祖父:安平 肥育者:上士幌町/藤屋 信幸 氏
枝肉重量:473kg ロース芯面積:80㎠ BMS No.12 格付:A-5

(株)北海道畜産公社 早来工場 令和4年5月6日 | 雌 28ヶ月

母の父:百合茂 × 母の祖父:花清国 肥育者:白老町/(有)ブリーディング白老牧場
枝肉重量:454kg ロース芯面積:82㎠ BMS No.12 格付:A-5

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会 特別区 出品を目指して！

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会がいよいよ来月開催されます。その鹿児島大会から高校と農業大学校を対象とした「特別区」が新設されました。前回の宮城大会では「復興特別出品区」として高校の部が開催され14の農業高校が出場。今大会はそれを引き継ぐ形で特別区が開催されます。特別区では出品牛の審査と取り組みの発表が行われ、総合的に審査されます。取り組み発表は特別区でのみ行われ、3分の持ち時間で各学校の全共へ向けた取り組みを発表します。

今回、鹿児島全共特別区への出品を目指す北海道の学生さん達を取材しました。北海道立農業大学校、北海道倶知安農業高等学校の2校をご紹介いたします。

※とわの森三愛高等学校は12～13Pの現場レポートにてご紹介しております。

北海道立農業大学校

本別町にある北海道立農業大学校（以下、農大）は、将来農業の担い手となる学生が全道、全国から集まる学校です。昭和21年に北海道庁立農業講習所として発足して以来、76年の歴史があります。農大には乳牛、肉牛の飼養管理などを学ぶ畜産経営学科や、畑作、野菜の栽培技術などを学ぶ畑作園芸経営学科など4つの学科があり、240haの広大な敷地で日々実践的な農業を学んでいます。

肉牛管理部

畜産経営学科には肉牛、乳牛、飼料作物の3つの管理部があり、学生はいずれかに所属しています。鹿児島全共へ挑むのは肉牛管理部の皆さん。現在1年生が7名、2年生が11名所属しており、2年生が中心となって取り組んでいます。部長の阪本さんによると、肉牛農家出身の学生さんは少なく、乳牛や非農家の学生さんが大半で、将来肉牛に関わってみたい、実家に導入してみたいと興味を持った学生さんが集まっているそうです。

コロナ禍以前は地域の共進会へ出品していたとのことで、平成29年に開催された第67回本別町家畜品評会では「くにかつはや号（父：勝早桜5）」が黒毛和種未経産の部で最高位に輝いた実績もあります。鹿児島全共へは、特別区があると声を掛けられたことがキッカケとなり、長く歴史のある農大の黒毛で挑戦してみようと出品することを決めました。

肉牛管理部部長 阪本さん

ひめしょうぶ号

ひめしょうぶ号（美津利奈×勝早桜5×茂花国×北平安）
令和3年5月5日生

農大から出品する牛は「ひめしょうぶ号」。当団繋養種雄牛「H黒-261 美津利奈」を父に持ちます。ひめしょうぶ号は5月5日生まれ、その日の誕生花である菖蒲（しょうぶ）（あやめ）から命名されました。また「菖蒲（しょうぶ）」と「勝負（しょうぶ）」もかけています。学生さんからは「ひめちゃん」と愛称で呼ばれ、とても可愛がられています。

ひめしょうぶ号と学生さんの一日の流れをざっくりご紹介いたします。授業が始まる前の早朝に餌を給与、授業（午前は主に座学）を受け、午後は実習の一貫でお世話を行います。朝与えた餌の残餌を撤去し、調教を開始。追綱を使用

ひめしょうぶ号繋ぎ調教の様子

した散歩、水洗いとブラッシング、繋ぎ調教など、2時間近く毎日調教を行っています。夕方に餌、夜は稲わらのみを4束給与しています。ひめしょうぶ号はいっぺんに餌を与えると美味しいところだけを食べて寝てしまうため、餌は小まめに分けて与えているそうです。お世話は2年生が二人一組になって毎日交代で担当していますが、引き手の2人は一日一回必ずひめしょうぶ号に触れるようにしています。

中村さん（左）、大西さん（右）

引き手を務める中村さん、大西さん

ひめしょうぶ号の引き手を務めるのは2年生の中村七々花さんと大西拓海さん。中村さんは非農家で、乳牛に興味があり農大へ入学しました。しかし、最近では肉牛も魅力がたくさんあるなと感じるようになり、肉牛管理部へと入部。本格的にシフトチェンジしたそうです。大西さんは実家が乳牛を飼養しているそうですが、肉牛に興味があり肉牛管理部へと入りました。卒業後は、中村さんは肉牛農家に就職、大西さんは酪農家で実習予定です。

鹿児島全共へ

鹿児島全共出場が決定した瞬間

鹿児島全共へ向けて意気込みを聞いてみました!

阪本さん：「将来肉牛を導入してみたいと考えて勉強している学生も多いです。今回の全共出品を目指して取り組んでいる経験が将来的に活かせれば良いですね。」

大西さん：「ひめと一緒に全共へ出場できるようがんばります!」

中村さん：「最初はなかなか言うことを聞いてくれませんでした。武隈さんなどの講師の方に調教を教えていただき、最近ようやく意思疎通できるようになりました。ひめちゃんはビビリな面があるので、人がたくさんいる場所やざわめきに慣れさせて本番に挑みたいです。」

8月10日音更町の十勝農協連共進会場にて、北海道最終選抜会が開催されました。特別区には農大ととわの森三愛高校がそれぞれ1頭ずつ出品、そして、農大が代表に選ばれました!おめでとうございます。代表に決定した瞬間の学生さんたちの表情は、グッとくるものがありました。来月、鹿児島で農大の皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

北海道立農業大学校の皆さん

北海道倶知安農業高等学校

倶知安町にある北海道倶知安農業高等学校（以下、倶知安農高）は後志管内唯一の道立農業高校です。昭和16年の開校以来、後志管内をはじめ道内各地で活躍する人材を輩出しています。

倶知安農高は生産科学科の単一学科で、1年生は様々な分野を幅広く学び、2年生からは農産物の生産から流通、販売までの一連の流れを学ぶ生産加工コースと、草花栽培やガーデニング、食材の調理やテーブルコーディネートなどを学ぶ生活園芸コースに分かれて専門性を深めていきます。

倶知安農高 牛舎

畜産班

各コース内にはいくつかの専攻班があり、生産加工コースには肉牛の飼養管理や餌の開発、共進会にも取り組んでいる畜産班があります。現在、2年生が3名、3年生が4名所属しており、うち1名が芋農家、他6名が非農家出身。皆さん動物や肉牛に興味を持ち倶知安農高に入学しました。

現在の飼養頭数は繁殖牛4頭、育成牛1頭、肥育牛4頭。学校で飼養している牛には独自の餌を与えています。倶知安町の特産であるジャガイモから作られるでんぷん粉の絞り粕を使用した餌で、畜産班のプロジェクトとして開発、改良を行っています。他にも地元で生産しているフスマや飼料米も使用しており、飼料米の一部は生産加工コースの作物班と共同で倶知安農高の水田で育てています。

共進会への取り組み

近年、倶知安農高では共進会にも取り組んでおり、「ひかりみさき号（父:美津百合）」が第67回後志肉用牛共進会で経産の部最高位賞を受賞、第17回北海道総合畜産共進会にも出品しました。ひかりみさき号での共進会出品は先生、生徒ともに良い思い出となっています。参加した生徒から他の生徒へ共進会の話がされており、共進会へ参加したいという意欲のある生徒さんもおられますが、新型コロナウイルスの影響で共進会が開催されず、参加できないまま卒業していった生徒さんもいらっしゃるそうです。

羊蹄20の69号（第1花藤×勝早桜5×北平安）
鹿児島全共に向けて授精し産まれた産子
今後肥育牛として飼養予定

また、倶知安農高も北海道の農業高校としてチャンスがあれば鹿児島全共へ参加したいという気持ちはありましたが、繁殖牛の頭数が少ないこともあり積極的な参加は難しい状況でした。北海道推奨種雄牛を授精し、タイミングが合えば出品しようと考えていたとのことですが、残念ながら雌が産まれず参加することは叶いませんでした。

次回の北海道全共もタイミングが合えばということではありますが、共進会へのモチベーションも高く、参加したいという意気込みを感じました。

渡邊先生（右上）と倶知安農高の生徒の皆さん

最後に

全共初の特別区へ出品を目指した2校を取材させていただきました。

授業を受けながら、出品牛の調教、出品牛以外の飼養管理とパワフルに活動している学生さんたちを拝見し、とても元気を頂きました。次回、北海道全共では農大、倶知安農高、とわの森三愛高校だけでなく、よりたくさんの道内の学校に全共出品を目指して取り組んでいただくことができれば嬉しいなと思っております。

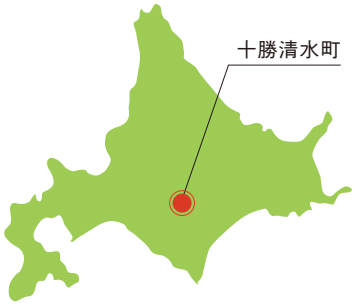
北海道立農業大学校の川上先生、廣瀬先生、学生の皆さん、北海道倶知安農業高等学校の渡邊先生、生徒の皆さん、お忙しい中快く取材を引き受けていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

牛が本来の姿でいられる酪農を目指して
～十勝清水町 十勝アルプス牧場～

十勝清水町

十勝平野の西部に位置している十勝清水町は、「国道38号線」と「国道274号線」の2本の国道が交差し、さらには道東自動車道のインターチェンジを有する、まさに道東の玄関口とも呼べる町です。また、豊かな大地が育む畑作と酪農が盛んな町であり、当団の十勝清水種雄牛センター、十勝北見事業所が所在しています。

そんな酪農が盛んな十勝清水町で、今回はブラウンスイス種の放牧酪農を営んでいる十勝アルプス牧場さんを訪問させていただきました。



十勝アルプス牧場

取材にご協力いただいた代表の橋本晃明さんは当牧場の3代目で、現在は4代目の耀介さんまで受け継がれている歴史ある牧場です。耕地面積は放牧地、採草地などすべて合わせて66ha、飼養頭数はホルスタイン種約45頭、ブラウンスイス種約65頭の計110頭（搾乳牛60頭、未経産牛50頭）を家族経営で飼養しています。一時放牧を中止し牛舎内でホルスタイン種のみを飼養していましたが、放牧酪農へ再転換するため放牧にあった牛を探していたところ出会ったのがブラウンスイス種でした。

ブラウンスイス種はスイス原産の乳・肉・役用の三用途兼用種から、アメリカで乳用種向けへ改良された品種で、被毛は全身灰褐色の単色、鼻鏡と口の周辺が白色になっているのが特徴です。乳量は1頭あたり7,000kg程度、搾乳スピードもホルスタイン種と比べると落ちますが、乳脂肪率、タンパク質含有率が高く、チーズなどの乳製品の原料乳として最適とされています。また、骨太のたくましい骨格で肢と蹄がとても丈夫です。寒さや暑さに強く病気や乳房炎になりづらいという特徴もあり、放牧酪農向きの品種となっています。

橋本さんは放牧酪農において最も大切なものは、牛が満足できる美味しい牧草と、その牧草を作るためのきちんとした土づくりだとおっしゃっていました。また、放牧地の状態に合わせて牛舎内で与える牧草の内容を変えることや、輸入の穀物への依存を減らし、その分の栄養を国産のビートパルプやコーン、4回刈りで栄養価の高い牧草を収穫するなど、細かく気を使いながら工夫をしているとのことでした。

ブラウンスイス種導入とブランド化までの道

ブラウンスイス種の導入に至った経緯としては、放牧にあった牛を探していたところに丁度よく、共働学舎 新得農場さんから「一緒にアメリカのウィスコンシン州からブラウンスイス種を生体輸入しないか」というお話があり導入へ踏み切ったそうです。導入初期の頃は生体輸入のため半年間隔離牛舎で飼養する必要があったり、輸入受精卵をホルスタインに移植した時は胎児が骨太なため難産が多かったりと苦労が絶えなかったそうです。そうして、ブラウンスイス種の搾乳頭数が5～6頭まで増えたころに帯広市の（株）ディームファクトリーさんから「もっと頭数を増やしてブランド化しませんか」とお話をいただいたこと、十勝清水コスモスファームさんから「ブラウンスイス種の雄子牛を肉用として譲ってほしい」とお話をいただいたことなどから、現在の飼養頭数まで増やしブランド化することを決意したそうです。

牛にとっての快適な環境の追求・牧場体験

写真提供:十勝アルプス牧場

十勝アルプス牧場さんでは、牛にとっての快適な環境を追求するために放牧畜産認証やアニマルウェルフェア(動物福祉)畜産認証を取得されています。また、消費者との交流・酪農理解推進のため、牧場体験にも力を入れています。

放牧畜産認証とは、(一社)日本草地畜産種子協会が放牧畜産を普及推進するため放牧畜産基準を制定し、その認証制度を創設したもので、書類審査と審査委員(認定員・放牧アドバイザー)の現地調査をクリアした牧場にのみ与えられる認証です。十勝アルプス牧場さんは放牧畜産認証第1号を取得しており、日本で初めて認証を受けた牧場です!

アニマルウェルフェア畜産認証とは、(一社)アニマルウェルフェア畜産協会がアニマルウェルフェア畜産の普及のため、「5つの自由」を守り、動物・管理・施設の各項目を80%以上クリアした牧場を認証するものです。こちらも書類審査と審査委員(アニマルウェルフェア研究者・獣医師)の現地調査をクリアした牧場にのみ与えられる認証で、有効期限は3年のうえ、年に1回農場審査がある厳しい認証制度となっています。どれだけ牛に人が近づくことができるか、肢蹄の治療をしっかりとしているか、牛舎や放牧地の面積が頭数に対して十分であるかなど、細かく調査をされるそうです。

牧場体験"日本じゃないみたいな牧場で牛たちとふれあうツアー"が毎年5～10月に実施されています。昼間の牧草地で自由に過ごす牛の世界をこっそり見ながら、橋本さんに牛の生態や牧草についてわかりやすく説明をしていただけるツアーです。ツアー終了後には牧場のアイスクリームもいただけます!じゃらん観光ガイドや旅色、お電話、メールにて予約を受け付けております。橋本さんのガイドの声が届く範囲でということと、コロナ禍ということもあり、現在は1度に5名程度でツアーを実施しているそうです。料金は大人3,000円、小学生1,500円、所要時間は1時間程度、対象年齢は放牧地内を歩くため10～80歳となっています。

写真提供:十勝アルプス牧場

おすすめ商品

『濃厚ショコラアイス』

アイスクリームはプレミアムアイス、バニラアイス、クリームチーズアイス、あずきアイスに新商品の濃厚ショコラアイスを含めた5種類の味があります。その中から今回は濃厚ショコラアイスをいただきました。商品名の通り濃厚なチョコレートとミルクの味が口一杯に広がります。甘さ控えめのビターチョコで後味がスッキリしており、何個でも食べられそうなおいしさです!

『放牧ミルクソフト』

放牧ミルクソフトは、放牧飼養のブラウンスイス種から搾った生乳のみで作られたソフトクリームです!濃厚なコクを感じる柔らかな口当たりで、お口の中でなめらかに溶けていきます。常温で少し溶かしてから食べるとソフトクリーム感が増してさらにおいしく食べることができます。

これらのほかにもミルクジャムやバター、全国送料無料のギフトセットの取り扱いもありますので、ぜひ牧場の通販サイトをご覧ください!!

GHBS-10 フイツシヤー

十勝アルプス牧場さんは当団の種雄牛であるGHBS-10「フイツシヤー」の生産牧場でもあります！種雄牛造成のためのエリート輸入卵を移植したところ、3頭の子牛が産まれ、なんと3頭ともオスだったそうです！その3頭の中から色々な条件をクリアし、選抜に至ったのがフイツシヤーでした。橋本さんは、「1頭でもメスが産まれたら保留して後継牛に残したかったので残念でしたが、各地でたくさんの娘牛が搾られて活躍しているので嬉しい」とおっしゃっていました。

GHBS-10 フイツシヤー

ぐっすり寝ている生後4日のフイツシヤー
写真提供:十勝アルプス牧場

最後に

代表の橋本さん

十勝アルプス牧場さんの取材を通して、放牧酪農の奥深さや難しさを知ることができました。また、貴重なブラウンスイス種の放牧ミルクソフトやアイスクリームもいただくことができ、貴重な体験となりました。

この度は、お忙しい中取材にご協力くださいました橋本晃明様とご家族の皆様にお礼申し上げるとともに、今後のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

（十勝北見事業所　柴田 実依）

十勝アルプス牧場® 橋本牧場
〒089-0103 北海道上川郡清水町字清水第6線31番地
TEL:0156-62-3327 Mail:shopmaster@tokachi-alps.com

【通販サイト】https://www.tokachi-alps.com/
【旅色】https://tabiiro.jp/leisure/s/206419-kamikawa-tokachi-alps/
【じゃらん観光ガイド】https://www.jalan.net/

通販サイト↑　旅色↑　じゃらん観光ガイド↑

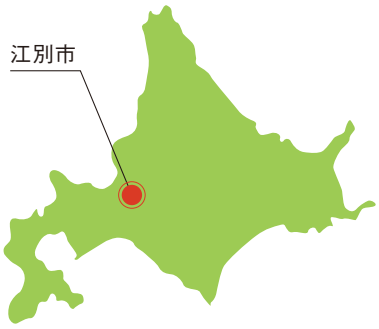
写真提供:十勝アルプス牧場

『すき』を『かたち』にできる場所
酪農学園大学附属とわの森三愛高校
～第12回全国和牛能力共進会へのチャレンジ～

江別市

石狩平野の中央に位置し、日本三大河川のひとつである石狩川が流れる江別市。南西部に世界有数の平地原生林である野幌森林公園が広がり自然を満喫できる一方、空・海の玄関口である新千歳空港や石狩湾新港にも近く、自然と都会が融合した街です。また、国内屈指のレンガの生産地でもあり、江別で生産されたレンガは北海道遺産に登録されています。

今回はその江別市にある「酪農学園大学附属とわの森三愛高校」を取材させていただきました。



酪農学園大学附属とわの森三愛高校

1933年に北海道酪農義塾として開校以来89年、今では全日制5コースと通信課程2コースを展開。附属の酪農学園大学と連携を取り、様々な分野での活躍の場を広げるべく約1,100人の高校生が日々実践に基づいた授業・活動に取り組んでいます。部活動にも力を入れており、多くの部活でインターハイへの出場・多数の入賞と、まさに文武両道の高校と言えるでしょう。

繋ぎ飼い牛舎の発足

2008年に改装した酪農学園大学の旧第一牛舎での実習がメインでしたが、2012年12月に繋ぎ飼い牛舎が完成、翌月に運用が開始されました。取材時での総頭数は42頭（うち経産20頭、未経産18頭、黒毛和種4頭）。朝夕の実習には高校生が入り、搾乳と一般管理をしています。平均乳量は40kg/日。一頭一頭の管理を生徒さんが一丸となって行い、大切に育てています。多くの生徒さんが実習するため、担当が変わっても同じ飼養管理をすること、そしてホルスタインも黒毛和種も常に清潔を保つことを心掛けています。

繋ぎ飼い牛舎

牛舎内

酪農畜産の担い手はもちろん、非農家出身の生徒さんもたくさんいる同校。初めて牛を見る生徒さんも上級生の指導のもと、牛舎当番をこなします。また、コロナ禍でここ数年中止になっていた外部への農家実習が9月から再開予定だそうです。「自分の地元とは違う地域で経験を積んで将来につなげたい」と家畜班の生徒さん方にお話しいただきました。

第12回全国和牛能力共進会へのチャレンジ

とわの森三愛高校では2018年、OBと酪農学園大学 堂地学長より、今年10月に鹿児島で開催される第12回全国和牛能力共進会にチャレンジしないか?という申し出を受け快諾、同大学と協力して黒毛和種牛を生産しました。今いる4頭の雌牛は

すべて堂地学長の移植により同じ受精卵から誕生したもので、その父は当団種雄牛である「H黒-277 勝美糸」です。

そのうちの1頭が「特別区」での出品を目指しています。この「特別区」は今大会で初めて設けられた枠で、出品条件としては、高校及び農業大学校の自家産であることです。

とわの森三愛高校代表牛「ちょこ号」
勝美糸×北平安×安福久　令和3年7月9日生

出品の経緯と今の目標

「これからの時代、酪農だけではなく肉牛も飼養する複合経営が増えてきていることから、このチャレンジを通して生徒が様々なことを実践で学ぶきっかけになるのではないか」とお話しいただいたのは前田先生。そのため、このチャレンジの申し出は非常にありがたかったそうです。ホルスタインしかいなかったところに黒毛和種を導入したことについて、「大きすぎても小さすぎてもダメ。飼養管理でも戸惑うことばかりでしたが、堂地学長や西寒水講師、また両研究室所属の大学生の指導のもと、順調に出品準備が進んでいます。生徒たちは非常に意識が高く、牛に負担を与えないよう涼しい時間に調教を行うため、朝5時前には自主的に牛舎に集まります。調教がきちんとできたらたくさん愛情を示し候補牛とともに頑張っています。このままうまく続けていきたいですね」とお話しいただきました。生徒さんからは、「牛と一緒にみんなで鹿児島に行きたい!!」と強い意気込みを頂きました。

最終選抜会の様子

チャレンジの結果、8月10日に開催された最終選抜会において鹿児島への切符を手にすることは残念ながら叶いませんでしたが、同共進会で行われる和牛審査競技会において生徒さん1名が北海道代表として参加予定だそうです。今回のチャレンジとあわせて、5年後に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会への布石となることは間違いないでしょう。

とわの森三愛高校のこれからと在校生からのメッセージ

「生産者の皆さまや地域の方々との信頼関係があってここまで続けることができました。今後も酪農畜産の担い手はもちろん、農業に興味のある生徒が集まる学校でありたいし、共進会においても一定の目標を持ちながら結果の出せる牛舎を目指したいです。卒業した生徒がそれぞれ活躍してくれると嬉しいですし、将来はみんなで集まれるような良い関係でありたいですね」と西川先生はおっしゃいます。また在校生からは「この学校では酪農畜産業を実習や座学を通して経験を積み、技術も学べます。基礎から学べるので非農家も入りやすく、とにかく楽しい学校です。きっとコロナが無ければ今以上に楽しいと思います!!」と最高の笑顔でお話しいただきました。

今回お忙しい中ご対応いただきました、前田先生・西川先生・在校生の皆さんに深く感謝するとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

（道央広域事業所　武内 美帆）

畜産班の皆さんとちょこ号

★新入生募集

酪農学園大学附属とわの森三愛高校では令和5年度の新入学生を募集しており、学校見学・入試相談会・説明会も開催されています。詳細は学校ホームページと特設サイトをご覧ください。

学校ホームページ:https://www.san-ai.ed.jp/　入学における特設サイト:https://sanai-sp.special-web.com/

学校ホームページ↑　特設サイト↑

新規ゲノミックヤングサイアの紹介

BRF JAMARCO CAPRESE SALAD ET

JP3H60517

◆ 個体識別番号:13936-2817-8
◆ 令和2年6月14日生
◆ 生産者:北海道 株式会社 ベイリッチランドファーム

A2/A2　new

BRF ジャマルコ カプレゼ サラダ ET

FFFFFFF

GNTP **+3,880**

GH-X♀

◆ ゲノミックヤングサイアにおけるGNTP全国No.1!
◆ 優れた産乳成分と低い体細胞スコア、高い乳代効果で経営に貢献!
◆ 理想的な肢蹄構造と乳器で耐久性に優れ、極めて高い体型改良力も兼ね備える!

BRF ミズリー シラス サラダ ET

BRF MASTERCARD ORANGE SALAD ET

JP3H60790

◆ 個体識別番号:13976-2966-9
◆ 令和3年1月29日生
◆ 生産者:北海道 株式会社 ベイリッチランドファーム

ROBOT 推奨　A1/A1　new

BRF マスターカード オレンジ サラダ ET

FFFFFFF

GNTP **+3,473**

GH-X♀

◆ 国内ゲノミックをけん引する"サラダ"ファミリー
◆ 高い産乳能力とロボット搾乳にも適応する乳器構造を持つゲノミックヤングサイア!
◆ 理想的な後肢の角度と低い体細胞スコア、泌乳持続性、繁殖性の良さが特長

BRF ミズリー シラス サラダ ET

BRF JAMARCO SHE-HER-HER SALAD ET

JP3H60535

◆ 個体識別番号:13936-2861-1
◆ 令和2年7月25日生
◆ 生産者:北海道 株式会社 ベイリッチランドファーム

A2/A2　new

BRF ジャマルコ シーハーハー サラダ ET

FFFFFFF

GNTP **+3,274**

GH-X♀

◆ 国内ゲノミックをけん引する"サラダ"ファミリー
◆ ファミリー譲りの優れた在群能力と耐久性を持つゲノミックヤングサイア!
◆ 高い産乳能力と好乳器･好肢蹄を持ち、能力と体型改良のバランスに優れる!

BRF ミズリー シラス サラダ ET

BS OSE BULLS RODMAN ET

JP3H60521

◆ 個体識別番号:13954-3161-5
◆ 令和2年8月8日生
◆ 繁殖者:北海道 上田 雅樹 氏
◆ 生産者:北海道 株式会社 大坂ファーム

A1/A1　new

BS OSE ブルズ ロッドマン ET

FFFFFFF

GNTP **+2,709**

◆ 世界を代表する著名な"ルデイー ミツシー"ファミリーより輩出
◆ ゲノミックヤングサイア No.1の長命連産効果!
◆ 体細胞スコア低く、気質も良く搾乳性良好!

テイーユー AO ミツフイー ET

PASSIONLAND MEGAROSTAR PP ET

JP3H60423

◆ 個体識別番号:15384-1336-2
◆ 令和2年5月29日生
◆ 繁殖者:アメリカ ボーマッズ ファームズ 株式会社
◆ 生産者:北海道 情野牧場

PP 100%　A2/A2　new

パッシヨンランド メガロスターPP ET

FFFFFFF

GNTP **+2,133**

GH-X♀

◆ 母系は米国ボーマッズ牧場の看板ファミリー、高能力･高乳成分･好繁殖の"ダルセ ボーマツズ"
◆ 無角（PP）で除角の負担を軽減!
◆ 空胎日数や在群能力など、管理形質に優れる!

ボーマツズ デルタ 6790

令和4年度前期
新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法（以下：現場後代検定）による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。

令和4年度前期の現場後代検定実施種雄牛を前回7月号に引き続き紹介させていただきます。

H黒-370 【アキミツハナ】 秋光花

08697-5339-0　黒原 6452　令和2年9月30日生
得点86.5点　生産者：幕別町（農）ファーストブリングアップ蛯

秋忠平	勝忠平	平茂勝
	このは	平茂勝
えび24の7	北茂安93	平茂勝
	つばき4	安平

母「えび24の7（父：北茂安93）」は、優秀な雌牛を多数輩出している「みつはな」系であり、十勝和牛育種組合育種牛に認定された系統雌牛です。産肉能力では、7産目の去勢肥育で格付A-5、枝肉重量595kg、ロース芯面積75㎠、BMS No.12を記録した高能力雌牛です。

その母に産肉能力の高さに期待が寄せられる「秋忠平」を交配した本牛は、審査得点86.5点を記録し、産肉能力だけでなく、体型の改良にも期待する種雄牛です。

本牛は体積が充実しており、後躯が良く、均称、品位、資質の優れた気高系種雄牛です。

▶MOVIE

H黒-373 【コユリ5】 琥百合5

14080-7810-3　黒原 6455　令和3年1月1日生
得点86.0点　生産者：幕別町　山田 貴赦 氏

琥珀	美津百合	百合茂
	ひもふじひめ	勝忠平
きくゆり5	勝早桜5	勝忠平
	きくゆり	美津百合

母「きくゆり5（父：勝早桜5）」は、脂肪交雑33位（令和2年7月北海道育種価）にランクされた「まりな」を祖母に持ち、高育種価雌牛「きくゆり」の娘です。

その母に当団種雄牛である「琥珀」を交配し、3代にわたり気高系種雄牛で血統の固定を図った本牛は、審査得点86.0点を記録し、産肉能力、増体能力に加え、体型の改良にも期待する種雄牛です。

本牛は発育が良く、体伸、体深に富み、後躯の優れた「琥珀」の後継種雄牛です。

▶MOVIE

第5回 GH絵画コンテスト

第4回に引き続き、第5回GH絵画コンテストの開催が決定いたしました！
昨年応募いただいた方も、そうでない方もぜひお気軽にご応募ください！！

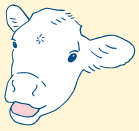
◆**募集対象**：18歳以下
◆**募集期間**：令和5年3月3日㊎必着
◆**作品について**

応募と賞品の詳細

①〈テーマ〉牛
②〈画　　材〉自由（鉛筆、クレヨン、水彩絵具、油彩絵具、貼り絵など）
③〈様　　式〉大きさ：A4（210mm×297mm）
A3（297mm×420mm）
四つ切（380mm×540mm）
（指定の大きさ以外の作品は審査対象外となります。）
用　紙：画用紙
④〈応募区分〉未就学児童の部、小学生の部、中高生の部
⑤〈応募方法〉氏名、年齢、性別、住所、電話番号、応募区分、作品名を記載した用紙を作品裏面に貼り付けてご応募ください。
団体でご応募の方は団体名、代表者名も記載してください。（額装の必要はありません。）
⑥〈送付先〉〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
北農ビル13階
（一社）ジェネティクス北海道 事業推進部 宛

◆**審査・発表**
①当団役職員と本誌表紙を手がける冨田美穂さんによる審査（出品者名は伏せて行います。）
②審査は応募区分別で行います。
③賞品について
・中高生の部 優秀賞（2名）：Ohuhu アクリル絵の具 78点セット
・小学生の部 優秀賞（2名）：WPL JAPAN D12 軽トララジコン
・未就学児童の部 優秀賞（2名）：SIKU Class コンバインセット
・参加賞（先着100名）："冨田美穂さんポストカードセット" or "牛グッズ"
④発表
本誌令和5年5月号と当団ホームページで発表いたします。
⑤作品の紹介
ご応募いただいた作品は本誌SIREや当団ホームページ、共進会などの当団ブースで掲載・展示させていただくことがあります。
※お送りいただいた作品は返却いたしませんのでご了承ください。

応募や景品の詳細はHPでも紹介するよ



中高生の部
優秀賞2名

「Ohuhu アクリル絵の具 78点セット」

アクリル絵の具入門セット！！

小学生の部
優秀賞2名

「WPL JAPAN D12 軽トララジコン」

大人も夢中の本格ラジコン！！

カスタマイズして自分だけの軽トラに！

未就学児童の部
優秀賞2名

「SIKU Class コンバインセット」

ミニチュアカートップブランドSIKU！

Classのコンバイン4点セット！！

参加賞
（選べませんので、ご了承ください）
先着100名

※ポストカード画像はイメージです。

「冨田美穂さんポストカードセット」
or
「牛グッズ」

?

グッズ内容はお楽しみ！

一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
https://www.genetics-hokkaido.ne.jp

@gh_assoc
@genetics.hokkaido
@gh_assoc
ジェネティクス北海道

事業推進部
〈情報企画課〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈乳牛改良課〉
TEL(011)242-9646
〈肉牛改良課〉
TEL(011)242-9647

●道北事業所…… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所…… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411
広域 TEL(011)375-4395（都府県 担当連絡先）
●十勝北見事業所…… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330